

## 地産地消の日・週間・月間（都道府県編）

平成20年7月4日現在、農林水産省が  
把握している情報を取りまとめたもの。

都道府県名	設定日	取組内容
北海道	毎月第3土・日曜日	<p>・道民の意識啓発や購買行動に直接結びつく仕組みとして、毎月第3土・日曜日を愛食の日（どんどん食べよう道産DAY）に設定し、直売市や量販店、コンビニと連携して、のぼり、ちらしによるPRや食関連情報誌へのロゴマーク掲載等を通して、地産地消の推進を図っている。</p> <p>愛食の日</p> <p>（ネーミング：どんどん食べよう道産DAY）</p> <p>日にち：毎月第3土曜日、日曜日</p> <p>キャッチフレーズ：おいしいですよ北海道</p> 
青森県	毎月第3日曜日	<p>・「ふるさと産品愛用の日」及び「あおもりごはんの日」として、地産地消をPR</p> <p>・なお、県産食材が最も豊富に出回る9月～11月は、「地産地消月間」とし、消費者、量販店を始めとした小売店、ホテル等の飲食店が一丸となって地産地消を実践。</p>
岩手県	毎月第4土曜日を 中心とする金・土・日	<p>・「いわて食財の日」として、地産地消をPR</p>
宮城県	毎月第1金・土・日曜日 （第1金曜日とそれに続く土・日）	<p>・「食材王国みやぎ地産地消の日」として、県産食材やその加工品への県民の理解と利活用を促進</p>
秋田県	毎月第3日曜日と その前の金・土	<p>・「あきた産デー」として、「採れたて秋田をまるかじり！！」をキャッチコピーに地産地消を呼びかけている。</p>
山形県	毎月21日	<p>・「庄内産品食の日」として、地産地消をPR（庄内地域）</p>
福島県	10・11月	<p>・地産地消月間として設定。また、農林水産部では、10・11月に毎月8日（福島県のごはんの日）を加え、「地産地消強化期間」として、地産地消をPR</p>
茨城県	毎月第3日曜日と その前の金・土曜日	<p>・地産地消の日「今日の食卓 茨城産デー」として、学校給食や家庭などでの県産品活用を推進</p>
栃木県	毎月18日	<p>・「とちぎ地産地消の日」に設定。</p> <p>・今年7月から、毎月18日に県庁内に直売所を開設し、取組をPRする。</p>
群馬県	毎月第1日曜日を 含む金～日曜日	<p>・「新鮮！安心！ぐんまの日」（地産地消の日）として設定</p>
埼玉県	11月	<p>・地産地消月間として設定</p>

## 地産地消の日・週間・月間（都道府県編）

平成20年7月4日現在、農林水産省が  
把握している情報を取りまとめたもの。

都道府県名	設定日	取組内容
千葉県	平成20年度：6月、9月、11月、2月	・千産千消推進月間として設定
新潟県	毎月第3日曜日と10月	・毎月第3日曜日を地場産の日、10月を地場産月間と設定し、地場産の積極的な活用を推進
富山県	11月	・県下全公立小中学校の給食で地場産食材を使用する「学校給食とやまの日」を設定する月として設定（実施日・実施回数は各市町村で設定）
福井県	毎月第3日曜日を含む金、土、日	・ふくい産をふくいで食べよう！という地産地消運動を県民全体の運動として位置づけ、一体となって盛り上げていくため、毎月第3日曜日を含む金・土・日の3日間を「とれたてふくいの日」に設定
山梨県	毎月第3金・土・日曜日	・「県産食材の日」として、県内で生産された農産物等を積極的に購入して、地産地消を推進する日を設定
長野県	毎月第3日曜日を含む金～日曜日	・「信州を味わう日」として設定
愛知県	11月	・「地産地消（いいともあいち）キャンペーン月間」として設定
三重県	毎月第3日曜とその前日	・「みえ地物一番の日」として、協賛いただいた食品小売店舗やレストラン等の独自の趣向により三重県産食材をクローズアップするキャンペーンを実施
滋賀県	毎月第3日曜日およびその前日の土曜日	・「（仮）地産地消推進の日」として本年9月から設定予定
兵庫県	委託先の団体ごとに設定	・（地産地消学校給食推進事業として市町又は地域協議会（15地区）に委託して実施）県産農林水産物を可能な限り多く使用する学校給食「県産農林水産物100%の日」を設定（実施日は委託先の団体ごとに設定）
奈良県	検討中	・地産地消に関する取り組みについては、平成18年度に策定した「奈良県地産地消推進計画」に基づき着実に推進するとともに、新たな取り組みのひとつとして「（仮称）県産食材の日」設定について検討を進める予定
鳥取県		（9月12日「県民の日」に全県で県内産食材を使用した献立の学校給食を実施。）
島根県	毎月第3週の金、土、日曜日	・「しまね・ふるさと食の日」として設定
広島県	10月19日を含んだ週	・「ひろしま食育ウィーク」を設定。この中で県民の健全な食生活に資する地産地消を推進するため、生産者と消費者との交流を行う。

## 地産地消の日・週間・月間（都道府県編）

平成20年7月4日現在、農林水産省が  
把握している情報を取りまとめたもの。

都道府県名	設定日	取組内容
香川県	11月、12月	・地産地消推進月間の設定
	平成19年度：1月24日～30日の一週間	・地場産を生かした学校給食週間の実施 (H19年度 1月24日～30日の一週間)
愛媛県	毎月第4金・土・日	・愛媛県、農林水産団体、商工団体等40団体が会員、県内全市町が賛助会員である「えひめ愛フード推進機構」が、平成17年6月に「えひめ地産地消の日」を制定。県は、パンフレット及び広報誌等による普及啓発、県庁食堂における県産農林水産物を使用したメニューの積極的提供、県産農林水産物を使用したメニューの普及等に努めている。
高知県	毎月第3金・土・日	・「地産地消の日」と設定。キャッチフレーズは「心つながるとれたて高知」
佐賀県	毎月第3金・土・日	・「食育の日」と設定し、食育とあわせて地産地消の取組を推進している。 ・学校給食における副食の材料として県産食材を8割以上利用する「ふるさと食の日」を事業実施校ごとに設定
長崎県	平成20年度：1月24日～30日の一週間	・学校給食における地場産品使用推進週間の実施
熊本県	毎月19日（土・日の場合はその前後）	・本年度から、「ふるさとくまさんデー」を設置。毎月19日の「食育の日」に、ふるさと熊本の食材を使って、熊本の伝統料理や郷土料理等を学校給食で提供し、子どもたちにふるさと熊本のよさを実感させるとともに、熊本の自然・食文化等に関心をもたせる。
大分県	11月17日	・平成18年に「おおいた地産地消の日」を設置 ・「学校給食一日まるごと大分県」の実施
宮崎県	毎月16日	・「みやざきの食と農を考える県民会議」が「ひむか地産地消の日」として設定
鹿児島県	毎月第3土曜日	・「かごしま活き生き食の日」に設定し、県民の食育・地産地消の取組を促進
	1月	・「鹿児島をまるごと味わう学校給食」を実施
沖縄県	毎月第3金・土曜日	・「おきなわ食材の日」と定める。 ・量販店等における県産食材の販売促進 ・年1回の地元新聞広告を活用したPRの実施

# 地産地消の日・週間・月間（市町村編）

平成20年7月4日現在、農林水産省が  
把握している情報を取りまとめたもの。

【北海道地区】

市町村名	設定日	取組内容
北海道		
釧路市	6-10月の第2金 ～日曜日	・「くしろ食財の日」地場産品を取り扱う釧路市内及び釧路管内 の小売店でくしろ産品をPR

## 地産地消の日・週間・月間（市町村編）

平成20年7月4日現在、農林水産省が  
把握している情報を取りまとめたもの。

### 【東北地区】

市町村名	設定日	取組内容
青森県		
弘前市	毎月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「りんごを食べる日」として、弘前市が日本一のりんご産地であることの市民の意識を高め、リンゴに対する愛着と誇りを醸成し、もって弘前市産りんごの地元における消費の拡大を図る日として設定</li> <li>・毎月5日にりんごに関するイベント等を市内各所で開催</li> </ul>
外が浜町	11月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食記念日（11/1）に、町内の学校の給食に地元食材を使用したメニューを提供することにより、地産地消の推進を図る日として設定</li> </ul>
宮城県		
登米市	毎月第3日曜日とその前の金・土	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「とめ・ふるさと食財の日」に設定し、登米市産農産物を使った料理を囲み、家族団らんで過ごすなど、「家庭の日」と連携した活動を推進</li> </ul>
色麻町	毎月第1金曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「色麻町地産地消の日」として、町役場において、町内の特産品・加工品・野菜・花などのPRや販売等を推進</li> </ul>
柴田町	毎月第1金・土・日曜日（第1金曜日とそれに続く土・日）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年4月から、各直売所（インショップ含む）等に「地産地消」の協力を呼びかけ、各々実施</li> </ul>
山形県		
朝日町	毎月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校において毎月19日を「地産地消の日」として設定し、地元産のものを給食に使用しメニューを紹介している。</li> </ul>
	毎年6月5日近辺土日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空気まつりの開催と併せて、毎年6月5日近辺土日を「地産地消の日」とし、空気まつりの会場において直売所を設置して地元産の農産物・加工品等を販売</li> </ul>
	毎年11月第3土日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業まつりの開催とあわせて、毎年11月第3土日を「地産地消の日」とし、産業まつりの会場において直売所を設置して地元産の農産物・加工品等を販売</li> </ul>
鮭川村	毎月第4木曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校・保育所給食地産地消の日」と制定し、村内の旬な農産物を取り入れた献立により、地場産農産物消費拡大と食農教育の推進を図る。10月、2月については、特産であるきのこを食材とした「木の子の日」として実施</li> </ul>

南陽市	9月中旬 11月中旬 2月上旬	・市立の保育所及び学校給食において、9月は南陽産大粒ぶどう、11月は南陽産りんご、2月は南陽産の大豆を加工した豆腐を提供している。また、この日の献立は県産農産物を最大限に使用した内容にしており、この日を「地場産給食デー」としています。児童生徒へ地産地消PRチラシを配布している。
	6月～3月 第3水曜日	・市内小中学校給食において、山形県米飯学校給食促進事業を受けて、第3水曜日を「ごはんの日」と定めパン給食に変えて米飯給食を実施しています。その日は、県産農林水産物を使ったおかずを取り入れることにしている。
白鷹町	10月25日	・「白鷹FOOD（風土）恵みの日」として設定し、毎年食の教育年間計画に盛り込んでいるもので、この日はすべて白鷹産の食材を使った給食を町内全小中学校に提供している。
庄内町	毎月19日	・地産地消の日として設定

## 地産地消の日・週間・月間（市町村編）

平成20年7月4日現在、農林水産省が  
把握している情報を取りまとめたもの。

### 【関東地区】

市町村名	設定日	取組内容
栃木県		
宇都宮市	毎月第3日曜日	・市役所隣接の公園において、朝市を開催。
神奈川県		
横浜市	11/1～30	・地産地消フォーラムの開催、各地区の地産地消イベントガイドの作成及び配布、農協と連携したイベントの開催等
海老名市	5月と12月の土曜日（各1回）	・地場農産物のPRイベントを開催（「花と野菜のフェスティバル」）
静岡県		
藤枝市	平成20年10月20日～24日	・地産地消週間として、病院食、学校給食への地場産米、野菜等の提供
富士宮市	毎月第3日曜日	・「食卓の日」として、親子で食卓を囲み地元食材を楽しむ日として推奨
富士市	6月、1月	・6月「ふるさと給食週間」、1月「給食記念週間」地場の特産物（しらす、キャベツ等）を使った給食週間
袋井市	平成20年度： 6月16日（月）～20日（金）	・市内小中学校給食において「ふるさと給食週間」と称し、静岡県や袋井市の地場産品（農産物や加工食品等）をメニューに取り入れている。
掛川市	平成20年度： 6月16日（月）～20日（金）	・県の食育推進計画に基づき、国が推進する6月19日の食育の日ともからめ、当該週間を「ふるさと給食週間」として、市内の全小中学校を対象に、地場の素材を使った学校給食を行った。

## 地産地消の日・週間・月間（市町村編）

平成20年7月4日現在、農林水産省が把握している情報を取りまとめたもの。

【北陸地区】

市町村名	設定日	取組内容
富山県		
氷見市	毎月13日	・毎月13日を「ひみの日」として地産地消の日に設定し、主に学校給食で地場産品の使用を推進 氷見市では地域の消費に合わせて、計画的に生産していこうということであえて地産地消でなく「地産地消」と言い換えて推進している。
	毎月29日	・29日のにくとかけ、氷見牛の日として使用を推進
射水市	毎月1回	・保育園給食における「射水きときとの日」の設定
南砺市	11月のいずれか1日以上（学校によって異なる）	・「な～んと！おいしい学校給食週間」と題し、地元の食材を活用した献立とし、校内放送、掲示板で地場産物の紹介をする。
立山町	6月、毎月19日	・「食育の日」として設定。取り組みの一部として学校給食に地場産食材を活用するようにしている。また、小中学校において、当日の給食に使われている農産物と生産者について栄養職員が紹介する。
上市町	11月26日	・学校給食とやまの日（学校給食で地場産物(りんご)使用）の一環



## 地産地消の日・週間・月間（市町村編）

平成20年7月4日現在、農林水産省が把握している情報を取りまとめたもの。

### 【東海地区】

市町村名	設定日	取組内容
岐阜県		
関市	毎週金曜日	・関市学校給食センターでは、毎週金曜日を「きせきの日」（き＝季節、せき＝関市）と定め、献立に関市産の野菜を使った料理を設定している。
中津川市	毎月第1日曜日	・中心市街地で『六斎市』を開催。中津川市や商工会議所が実行委員会になり、市街地活性化の取り組みの中で、地元野菜の直売を行っている。現在は10～12団体ほどの出店がある。
東白川村	毎年7月7日	・小・中学校給食において地場産農産物を利用した献立が提供されていることを校内放送でPRする。
愛知県		
名古屋市	6月、11月～3月	・名古屋市内小学校を対象に、6月及び11月～3月までの6ヶ月間の内各1日を「みんなで食べる名古屋産」給食の日と設定
豊橋市	6、9、11、1月	・小中学校の給食に地場農産物を活用する「学校給食の日」を各月のいずれかの一日設定
三重県		
鈴鹿市	毎年12月1日	・市政記念日に際し、地域の農林水産業を見つめなおすため、学校給食に地域食材を活用

## 地産地消の日・週間・月間（市町村編）

平成20年7月4日現在、農林水産省が  
把握している情報を取りまとめたもの。

【近畿地区】

市町村名	設定日	取組内容
滋賀県		
東近江市	各月1回	・学校給食に市内各地区の食材を使用する日を「地区の日」、東近江市の食材を使用する日を「東近江の日」として設定
大阪府		
豊能町	年間2回（主に9月、11月の各1日）	・「豊能町を食べる日」を設定し、各小学校等給食及び調理実習において豊能町産農林産物及び加工品を提供し、出来る限りその材料でのメニューによる給食・調理実習を実施する。さらには、実施日に生産者と一緒に給食等の時間に訪問し、食材や生産過程の話をするなど、子ども達との交流をとおして、食と農について理解を深める機会とする。
高槻市	7月14日（月）～18日（金）・・・毎年7月中旬ごろの月～金曜日を設定	・「学校給食 高槻農産物週間」という名称で、学校給食に地元産農産物を供給する取組を実施。内1日を試食会として生産者に学校給食を食べてもらい交流を図っている。
兵庫県		
高砂市	平成21年2月23日	・県産農林水産物を可能な限り多く使用する学校給食「県産農林水産物100%の日」を設定
相生市	未設定	・県産農林水産物を可能な限り多く使用する学校給食「県産農林水産物100%の日」を設定
佐用町	平成20年11月下旬 平成21年1月下旬	・県産農林水産物を可能な限り多く使用する学校給食「県産農林水産物100%の日」を設定
宍粟市	毎月1回実施予定	・県産農林水産物を可能な限り多く使用する学校給食「県産農林水産物100%の日」を設定
太子町	平成20年10月20日	・県産農林水産物を可能な限り多く使用する学校給食「県産農林水産物100%の日」を設定
豊岡市	平成20年12月11日	・県産農林水産物を可能な限り多く使用する学校給食「県産農林水産物100%の日」を設定
香美町	平成20年10月7日	・県産農林水産物を可能な限り多く使用する学校給食「県産農林水産物100%の日」を設定
養父市	平成20年10月31日	・県産農林水産物を可能な限り多く使用する学校給食「県産農林水産物100%の日」を設定
洲本市	平成20年7月4日	・県産農林水産物を可能な限り多く使用する学校給食「県産農林水産物100%の日」を設定
新温泉町	8月盆前(日未定)	・農産物直売所での地場農産物販売イベント内容を行政放送などで紹介。「盆市」
	12月年末(日未定)	・農産物直売所での地場農産物販売イベント内容を行政放送などで紹介。「正月市」

## 地産地消の日・週間・月間（市町村編）

平成20年7月4日現在、農林水産省が把握している情報を取りまとめたもの。

【中国四国地区】

市町村名	設定日	取組内容
島根県		
出雲市	毎月第3金・土・日	・毎月第3金・土・日曜日を「いずも食材の日」として設定
斐川町	毎月第3金・土・日	・毎月第3金・土・日曜日を「いずも食材の日」として設定
隠岐の島町	毎月日曜日	・西郷港付近の駐車場にて「島の朝市」を開催し、地元の農産物、農産加工品、水産物、水産加工品を販売する。（4月～12月期間限定）
	第2第4土曜日	・隠岐農業協同組合五箇支所の駐車場を利用し「こぞって市」を開催し、地元の農産物、農産加工品、水産物、水産加工品を販売する。
	毎月最終日曜	・隠岐の島町都万支所にて「都万産直市」を開催し、地元の農産物、農産加工品、水産物、水産加工品を販売する。
	第1第3日曜日	・「産直問屋しおさい」にて青空朝市を開催し、地元の農産物、農産加工品、水産物、水産加工品を販売する。
	毎日	・学校給食において、地元食材を優先的に利用し、給食を提供する。
愛媛県		
宇和島市	未設定	・国・県の地産地消の日程にあわせて活動している。
新居浜市	未設定	・県が制定した「えひめ地産地消の日」において、大手スーパーなどで「のぼり」をたて、市民に地産地消をPRしている。
西予市	未設定	・学校給食では、市内産農産物を使用した場合に校内放送で紹介している学校もある。市内産小麦を使用したパン使用。
内子町	トレーサの日 10月3日	・生産者と消費者が環境や農作物の安全安心、また、地産地消について理解を深めようと、町が平成17年10月3日を「トレーサの日」として宣言して生まれた。今年で4回目を迎える記念日は、地元農産物の安心安全のPRや農作物加工品の販売及び試食会、特別講演会などを実施している。
高知県		
南国市	検討中	・今後、南国市地産地消推進協議会で取組について協議する予定

# 地産地消の日・週間・月間（市町村編）

平成20年7月4日現在、農林水産省が  
把握している情報を取りまとめたもの。

【九州地区】

市町村名	設定日	取組内容
福岡県		
うきは市	未設定	・「弁当の日」「伝統食の日」に地元食材で児童が弁当・伝統食作り
筑後市	毎月任意の1～2日	・地元農産物を学校給食に導入する日を「ちっごの日」とする
大川市	年1回	・学校給食に地元の主要農産物を提供する日を「大川の日」とする